

平成30年度

土地改良施設管理円滑化事業 報 告 書

－ 土地改良施設の整備補修事例 －

平 成 31 年 3 月

全国土地改良事業団体連合会
中央土地改良管理指導センター

(目 次)

1. はじめに	1
2. 検討会の開催日と開催地	2
3. 検討会の出席者数	2
4. 各県提案事例の要旨	3
5. 選定理由及び主な質問・意見	9
6. 参考事例紹介	16
① 取水口のコンクリート補修事例（追跡調査）【秋田県】	14
② 新スプリアス規格に適合した放流警報装置の整備補修【茨城県】	28
③ 管理の効率化・労力節減対策（ゲートの電動化）【千葉県】	38
④ 水槽の水位監視と揚水機場の運転監視を行うことで、管路漏水箇所の特定が 容易になり、管理の効率化と維持管理費の節減が図られた事例【静岡県】	47
⑤ 配管の新たな整備補修工法について【新潟県】	59
⑥ 除塵機設置による維持管理労力の軽減を図った事例【三重県】	73
⑦ 老朽化した集水井及び揚水機場の整備補修を行うことで管理コストの軽減を 図った事例【京都府】	86
⑧ ポンプの型式変更することで維持管理のコストを軽減した事例【兵庫県】	102
⑨ 老朽化した水路の補修工事において、国営事業工事に合わせ、既設水路内に 管を埋設し、工事費の節減を図った事例【徳島県】	123
⑩ ため池堆積土を堤防補強材として利用し、堤体の安定性確保と工事費の低減等を 図った事例【香川県】	132
⑪ 老朽化した除塵設備を経済比較し選定した工法で更新、並びに維持管理労力の 低減を図るため監視カメラ及び管理橋を設置した事例【熊本県】	143
⑫ ダム余水吐管理橋の整備補修においてコスト縮減を考慮した新技術工法を採用し 維持管理費の軽減を図った事例【大分県】	156